

## グループ討議A班の記録

### < 子供への情報モラルの教育について >

- ・平成15年の教育課程から高校で「情報」という科目ができ、「情報モラル」を取り上げてきたが、小・中学校の学習指導要領では、「情報モラル」は技術科や総合的な学習の中で取り上げるだけで、明示はされていない。しかし、昨年3月に発表された25年度からの新課程では義務教育でも総則の中で明示されることとなった。
- ・高校の教科書においては、小中で勉強した内容からの繋がりや発展の部分を考えるのと共に、社会に一步出る手前の準備として、「情報モラル」を取り込んでいったら良いのではないかと考えている。
- ・子供たちへの継続的な指導にするためには、「情報モラル」をカリキュラムとして取り入れるべきである。小学校1年生から、ケータイの情報教育として「自分の気持ちを表現することができる」「正しいことがいえる」「悪いことにはブレーキを掛けられる」そういった内容から始め、段々と問題を取り上げていけばよい。

### < 保護者への情報モラルの教育について >

- ・5年後には、学生時代からケータイを利用していた子供が親になる。だから、「今」一番大事なことは、子供に携帯を持たせ始めた親への指導である。
- ・ヤフーの別所さんの話で、「保護者がわかりやすいリスク情報の提供」とあったが、保護者だけでなく地域を含んだ「大人がわかりやすい情報リスクの提供」を求めたい。

### < 地域とのつながりについて >

- ・先生は実際どういう問題が起こっているのか、といった知識が少ないため、カリキュラムに効果的に「情報モラル」の問題を取り込めないことが考えられる。そこで、先生たちが地域に出ていき、いろいろな話を聞きながらカリキュラム作成することが望まれる。
- ・地域とのつながりを継続、発展させていくためには、カリキュラム自体に地域と直結した内容を取り入れるべきである。
- ・研修会に来る人がコアになって周りに広め、少しでも補完していくという話があったが、地域内のコミュニティ状況、例えば学区よりも小さい地域でコミュニティの分断が起きていると、そのようなやりかたが難しく、今後の課題である。

### < その他 >

- ・メーカーからパソコンで携帯の画面が出てきて疑似体験できるソフトが出てきている。NEC、Sky 株式会社などがある。
- ・ケータイの実物を使った研修は、メーカーや消費者生活団体が行っている。

## グループ討議B班の記録

### < 地域のボランティアとして情報モラルへの関わり >

- ・ボランティア団体として学習支援や、児童相談所で授業をしている。各学校でコーディネーターの教育などにも、取り組んでいる。団塊の世代がほとんどですが、サラリーマン時代に、通常の操作などでパソコンを扱っていたので、その点では問題はないが情報モラルとなると、何をどれくらいというのは、わからない。
- ・コーディネーターとして中学で活動している。地域の方々も参加するような研修会を開いています。
- ・教科書会社の広報部として広報紙をだしている。その中で毎回教育のトピックを特集しているが、先生方の要望で、情報モラルを特集して欲しいという意見が多い。先生方も情報モラルといっても、何をどのくらいどんなふうに教えて良いか悩んでいるようです。事例発表など、載せて欲しいと要望があります。
- ・世田谷区では、学校協議会、地域、町会など学校をとりまき機能しているので、そこで情報モラル研修会などを行っている。

### < 情報モラルに対しての学校の先生の状況と行っていることについて >

- ・学校現場でよく聞くのは、学校全体ではなく、担当の先生だけが、頑張っているということ。その先生が居なくなると取り組みすら無くなってしまいうこともある。

- ・各学校で、研究テーマをもっているのに、情報モラルのテーマで研究授業をやるのは難しい。市や区で情報モラルの研修会をやることは、あります。
- ・中学校が専科である事に対し、小学校では、教科も沢山受け持ち、学年も毎年変わったりするので、共通理解はある。校長先生に報告をだして必要と認められれば、可能である。校長先生の危機意識によると思う。
- ・岩手県では、疑似体験できる学習ソフトを独自で作った。子ども用、大人用を同じ内容でプログラムを分けて作って PTA 研修や授業で活用しています。内容は色々なサイト、ゲームによる高額請求の疑似体験、チャット、掲示板への書き込みによる個人の特定が出来てしまうなどの体験が出来るものです。
- ・世田谷区の各学校は ICT 関係のマイスターをおいています。定期的に先生方を集めてマイスターの研修をし、学校に戻った際にマイスターを学校内で広めて頂いています。

#### <その他>

- ・携帯電話会社でも、疑似体験ソフトを作っている。
- ・地域の方々にこういった教育に入れる良さは、親や、先生に相談できない事を、第三者的立場、あまり良く知らない大人という意味では、相談しやすいのではないかと。

### グループ討議 C 班の記録

#### <情報モラルを学校で推進していくためには>

- ・今後は情報の分野は裂けて通れない分野になると予測されるので、駄目の規制ばかりではなく、光の部分もやるべきである。
- ・道徳の授業と、情報モラルは繋げていくと授業をやりやすいのではないかと。
- ・高校では、「情報活用(ワード・エクセル)」「情報の科学的な理解(セキュリティ)」「情報モラル」を教えているが、中学では教科として行わないので、高校でもリテラシーに力をいれなくてはいけない状況になっている。
- ・入学式に親に冊子を渡し入学式後に、イベントとしてヤフーさんが行うというような案はどうか。
- ・企業は学校の情報モラルの研修などに、参加、支援している。

#### <日本の子どもたちのインターネットを利用する状況について>

- ・日本の子どもたちは、早くからインターネットを使い利用時間も長いがワード・エクセルが出来ない。世界的な傾向からするとかなり使い方にも問題がある。
- ・海外でのインターネットは、情報を得る為の素晴らしいもので、勉強にも使う。対して日本では、きちんとした情報ではないサイトや内容のものが多すぎる。
- ・日本の著作権法は、出来が良くない、法規を守れるルールに変えて欲しい。

#### <その他>

- ・インターネットの技術によって、世界的に教育が良くなる。
- ・情報モラルは「情報」がつく「モラル」だけで良いのではないかと。